

聖書宣教会通信

東京都羽村市羽西 2-9-3 Tel:042(554)1710 Fax:042(554)5562 www.bibleseminary.jp 振替 00150-6-34971

巻頭言

「キリストからの祈禱課題」

聖書宣教会理事長

清水 昭三

私たちの主の聖名を賛美いたします。聖書宣教会は幾度かの困難を乗り越え、教師たちや理事會、評議員會も世代交代をしながら、教会に支えられて 55 年目を迎えることができました。諸教会、諸兄弟姉のお祈りとご支援を主にあつて心より感謝申し上げます。

ところでもう一つの祈禱課題をお願いいたします。それは聖書宣教会だけではなく日本のキリスト教会と神学校全体のことで、最近、献身者が減少気味です。献身者がさらに起こされるようにお祈りください。主イエス・キリストは言われました。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」(マタイ 9 章 37,38 節)。でも私たちは、本当に収穫は多いのか、キリストの生涯において収穫は多かったのか、弟子たちはキリストを見捨てて逃げてしまったのではないかと思ったりします。けれども、やがて後になって、使徒たちは全世界に福音を伝えるようになるのです。キリストの視点は全世界と次の世代にあったのではないのでしょうか。福音宣教によってキリストの救いに招かれる人は昔も今も多いのです。私たち現在の教会も、全世界と次の世代を視野において「収穫は多いが、働き手が少ない」のみことばにアメンと言う必要があるのではないのでしょうか。

またこれはキリストが与えて下さった祈禱課題です。羽鳥明師のあかしとして聞いたことですが、羽鳥明師が進路を求めておられた若い頃、教会の看板の裏側を見るようにと牧師に指導されて見たところ、「あなたがたがわたしを選んだわけではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです」(ヨハネ 15:16) と墨で記されていて、それで進路を決定したとのことでした。働き手が選ばれ、任命されるのは主によることです。私たちにできることは祈りだけです。それでキリストは働き手のことを教会の祈禱課題として与えてくださいました。私は教会の中で、高校生や大学生の兄

姉たちに「一度は、献身が主のみこころなのかどうかお祈りしてください」と言うことがあります。どんな兄弟姉が献身に導かれているか分からないからです。一切は主がなしてください。ですから教会も牧師も、働き手が起こされるように祈る務めがあります。

そしてまた、働き手が起こされることは父なる神のみこころです。キリストは、「収穫の主、収穫のための働き手を送ってくださるよう祈りなさい」と言われました。収穫の主である父なる神が働き手を起こしてくださるのです。キリストも、父と共に福音のために働いておられるのです。「わたしの父は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いているのです」(ヨハネ 5:17)。働き手は、収穫の主である父なる神、子、聖霊なる神の働きに加えられるのです。なんと光栄なことでしょうか。キリストは、弟子たちに「なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい」(ヨハネ 6:27) と言われました。物質中心の文化が構築される歴史の中で、永遠のいのちの福音が届けられるために働き手が用いられるのです。献身者が減少しているキリスト教会の現状を覚え、キリストからの祈禱課題をお祈りくださるようお願いいたします。そしてキリストの救いが、この時代から次の世代に、そして日本と全世界に宣べ伝えられますように、そのために多くの働き手が起こされますようにお祈りください。また現在聖書宣教会で学んでいる研修生たちや指導にあつている教師たちとその必要のためにも続けてお祈りくだされば感謝です。

諸教会と主にある兄弟姉たちの変わらないご支援を心から感謝しつつ、主の御祝福をお祈りいたします。



「聖書宣教会同窓会の願いと祈り」

全国同窓会長 櫛田 信 (中山キリスト教会牧師)

私は、教会の週報に「牧師の今週の予定」を掲載します。兄弟姉妹に予定を知らせ、祈って頂きたいからです。「牧師は明日、聖書宣教会同窓会関東地区役員会に出席します、お祈り下さい」という具合にです。しかし、同窓会は何をしているのか、どう祈って頂きたいか、詳しく説明をしたことはありません。

ですから、こうして同窓会について書く機会を与えられて感謝しています。ここでは、同窓会の働きや各地の状況をお知らせしたいと思います。同窓生の皆様にさらにこの働きにご協力頂ければ、また、諸教会の皆様にとって祈りの助けになればと願います。

聖書宣教会同窓会は、一時期活動を休止していました。卒業生の数が増え、全国での活動が維持できなくなったためです。15年ほど前に、旧責任役員の一であられた斎藤篤美師を中心に準備が進められ、現在のように全国を8地区に分けて活動が再開されました。同窓会の目的は、①同窓生が学び交わり、奉仕のために祈り合うこと、②聖書宣教会のために協力を行うこと、の二つです。この線に沿って各地区で活動がなされていますが、おもに宣教会の先生方を招いて学び、祈り合うのが基本です。

各地区同窓会の様子を少しだけご紹介すると――北海道「同窓会のために特別精力を注いでいる訳ではないけれど多くの教派・団体から集うのが特徴」。東北「震災の支援活動に関わっている最近の卒業生を中心に今から同窓会活動を軌道に乗せようとしている」。北陸「孤立しやすい教職者が支えられるよう学びというより親睦が中心」。東海「近いようで中々ふだんは出来ない交わり・学び・祈りを中心に、一泊で行っている」。中四国関西「講師に二回の講義をしてもらい、宣教会の状況を聞いて祈りと交わりをともにする」。九州「年に一度のみことばセミナーの他、宣教大会に宣教会から講師を招いて献身を励ましている」。沖縄「現在、活動は休止中。再開したいと願っている」。関東地区について言えば、年に一度、聖書宣教会に集まって研修と交わりの時を持っています。ここ3年間の講師とテーマは、2010年津

村俊夫師「新改訳聖書のこれまでとこれからのについて」、2011年近藤愛哉師「これからの教会支援と宣教について」、2012年岸本紘師「聖書一冊の人」でした。

昨年の各地区同窓会の参加者は合計で約100名。これは全同窓生の二割に迫ります。そして、定期的な活動に加えて、緊急の祈りの課題等、連絡網によって情報を共有しています。

また、上記の活動の他に、各地区同窓会の地区長は相互に連絡し合い、三年に一度全国から集まって総会を持ちます。この全国同窓会から一名が聖書宣教会の評議員となり、役割を果たします。このような原稿を書いたりもします。

個人的なことを申しますと、私自身が同窓会に参加するのは、学ぶべきことを学ぶことなく卒業してしまったという学舎への負い目と、それでも何とか学びが導かれたという感謝からです。一言で言えば「神学校が好きだから」です。それは、主に愛された者として、主と主の教会を愛することと別のことではありません。同窓会は、神学校の働きを教会の働きとするために、ささやかな助けをします。

同窓生は同窓会に参加することで、しもべとしての原点に連れ戻されます。教師たちの姿を通して、みことばを深く学び続ける人の謙遜を見るからです。どこかに置き忘れてしまったかも知れないあの感覚を取り戻します。また、聖書宣教会は、教会に仕える同窓生の姿を通して、教会からの生きた手紙を受け取るようになります。それは、教会に仕えるための神学教育という本来のあり方をいつも確認させることとなるでしょう。

そういうわけで、同窓生の皆様、ぜひとも積極的に同窓会にご参加ください。また、週報の欄に、先のような「告知」を見た皆様、ぜひお祈りください。「牧者たちが、主のしもべであることを新たに深く学ぶことが出来ますように。神学校の働きが、いつも真に主の教会に仕えるものとなりますように。そして私たちもさらに主にお仕え出来ますように」と。

諸教会の祝福を祈っています。

2013年度 聖書宣教会講座案内

2013年度は次のようなプログラム、講座を予定しています。11月9日（土）のオープンデイを始め、聖書講座、教会合唱講座はどなたでも参加できます（オープンデイ以外は要申込）。お待ちしております。

聖書講座（金曜日 10:30～12:10）

前期：「テサロニケ人への手紙 第一」（横山 昌英）
4月12日～10月18日（15回）
於 ぶどうの樹キリスト教会（四ッ谷）
後期：「アブラハムの信仰の旅路」（山中 直義）
11月～3月（15回）

第38回 夏期研修講座

期間：7月2日（火）～4日（木）
会場：奥多摩福音の家
対象：牧会者とその配偶者
テーマ：「説教と説教者」
2013年も夏期研修講座を開催することが決まりました。テーマは最も身近な「説教と説教者」です。講師のメンバーを少し変えながら、このテーマで聖書を学びたく願っています。どうぞふるってご参加ください。また二日目に少し自由な時間を設け、グループごとの話し合いなども計画しています。なお、昨年「牧会と牧会者」の発表原稿は、『聖書から考える牧会』と題してのちのちことば社から出版されました。ご利用ください。

講師：聖書宣教会教師・講師
詳細：別紙案内、ウェブサイトをご覧ください。

教会合唱講座（火曜日 18:30～20:30）

前期：「賛美：会衆賛美、奏楽、聖歌隊とともに賛美する-5」（飯島千雍子、遠藤かおる）
4月23日～10月15日（9回）
於 浜田山キリスト教会（立川から変更）
後期：11月～3月（9回）

第29回 教会音楽夏期講習会

期間：7月25日（木）～27日（土）
会場：聖書宣教会（宿泊は近隣の「玉川苑」）
対象：聖歌隊員、聖歌隊指導者、奏楽者、独唱者等、礼拝や教会の諸集会で音楽の奉仕に携わっている方、および奉仕の準備をしたい方
みことばと音楽 一礼拝と賛美（2）－
2013年も教会音楽夏期講習会を計画しています。新しい3回シリーズの取り組みが始まり、今回は2回目となります。皆様のご参加を心からお待ちしています。礼拝における賛美のあり方を追究することは、現代にますます大きな意味を持つようになってきました。共に賛美し、共に祈り、共に学ぶ中で、研鑽を深めていくことができればと願っています。

講師：聖書宣教会教師・講師
詳細：別紙案内、ウェブサイトをご覧ください。

（このほか、聴講制度があります。詳細は事務局まで）

2013年度 聖書宣教会主要年間予定

2013年

4月9日（火）	入会式	10月26日（土）	後期開始
4月12日（金）	前期開始	11月9日（土）	オープンデイ
5月21日（火）	祈りの日	11月21日（木）	祈りの日
6月5日（水）～6月6日（木）	特別講義	11月30日（土）	賛美礼拝
6月17日（月）～6月22日（土）	集中講義	12月18日（水）～1月6日（月）	クリスマス調整期間
6月29日（土）～8月28日（水）	夏期調整期間	2014年	
7月2日（火）～7月4日（木）	夏期研修講座	1月7日（火）	後期再開
7月中旬～	キャラバン伝道	2月11日（火）	信教の自由を守る日
7月25日（木）～7月27日（土）	教会音楽夏期講習会	2月17日（月）	入会試験
8月31日（土）	前期再開	2月22日（土）	教会音楽のひととき
10月18日（金）	前期終了	3月11日（火）	卒論発表会
10月19日（土）～10月25日（金）	秋期調整期間	3月15日（土）	後期終了
10月22日（火）～10月23日（水）	リトリート	3月17日（月）	第55回卒業式

編集後記

心地よい緊張感がほぐれて、主の恵みに感謝を新たにするのは、入会試験の受験者ばかりでなく、在校生や教師、職員も同様です。6人の兄弟姉妹を歓迎します。主の奇しい導きに感謝しつつ、さらに多くの献身者が起こされるように祈ります。

「万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。」（1ペテロ 4:7）のみことばが心に響いています。私たちがいつも主のみことばをはっきりと聞き分けることができますように。（A）